

島根県公共事業再評価 対応方針（案）

作成日 令和5年6月

番号	事業概要・事業主体等	事業の進捗状況	事業採択時の状況及び社会情勢の変化等	事業効果	環境への配慮 事業を中止した場合の影響	今後の県の方針案
4	(事業概要) (事業主体の根拠) (事業名・地区) 一般県道 八重垣神社竹矢線 防災安全交付金事業 大庭工区(交通安全) (事業位置) 松江市大庭町 (事業費) 1,380,000千円 (事業概要) 本事業は松江市大庭町地内の1.22km区間について車道拡幅および歩道を整備するものである。 (事業主体の根拠) 道路法第15条 (再評価区分) 事業採択後10年を経過している継続中の事業 (担当部課名) 土木部道路建設課	(事業採択・着手・完了予定年度、経過年数) (進捗状況と今後の見込み) (進捗率(全体) : 68% " (用地) : 81% " (工事) : 48% ※事業費ベース 進捗状況は、総延長1.22kmのうち、0.54kmは2015(H27)年までに供用済。用地買収は数名を残すのみとなっており、2027(R9)年度の完成供用を目指している。	(事業導入の経緯・目的) 事業区間は周辺地域の生活道路であると同時に、沿線にある大庭小学校、周辺にある中学校および高校に通う児童・生徒が利用する通学路となっている。 道路幅員が4m程度と狭い箇所があり、離合が困難な上に歩道が無いことから、車両のすれ違い時の衝突等、ほぼ毎年交通事故が発生している。車道拡幅および歩道を整備することにより、通行車両および歩行者等の安全確保を図るものである。 (事業を取り巻く社会情勢) 2015(H27)年に国道432号大庭バイパスが一部供用開始したことに合わせ、大庭ショッピングタウンが形成されたことから、当該路線は近隣住民が日常生活をする上で重要な路線となっている。 (事業に対する地元情勢・計画の熟度) 地元関係者で組織される「県道八重垣神社竹矢線整備促進協議会」と計画段階から検討を行っており、地元協議会は、事業に協力的であり早期の完成を切望している。	(費用対効果) B/C=0.87 (コスト削減・代替案等) ①事業規模の妥当性 県条例に基づき、地域区分と計画交通量から道路規格3種3級、設計速度40km/h、道路幅員3.00m×2車線+路肩と歩道2.5m×両側の全幅12.00mとした。 ②事業の妥当性 家屋等立地状況や地形等を考慮し、経済的なルート案を採用した。 ③コスト削減への取り組み 大庭町地内で交差する国道432号の道路改良事業(大庭バイパス)と施工時期を合わせることにより、現道部への暫定取り付けや交差点付近の通行規制にかかる費用を削減し、事業費の削減を図った。 (その他の効果) 大庭ショッピングタウンへのアクセスの利便性向上が期待できる。	(生活環境・自然環境への影響) 環境配慮の取組状況 ・共通配慮事項 別添『取組シート』のとおり (事業を中止した場合の影響) 松江市通学路交通安全プログラムで要対策箇所として位置づけられた箇所が未整備のまま残り危険な状況が解消されない。 また、交通量が多いが車道幅員4m程度の狭隘な区間があることから、車両のすれ違い時の衝突事故があるなど、安全で円滑な交通の確保やアクセスの利便性向上が図れない。 すでに用地買収は数名を残すのみとなっており、中止した場合、用地提供者など地元住民の理解が得られない。	(方針案) 継続 (継続の理由) 本事業により、狭隘な幅員は解消され、歩行空間も確保されることから、安全で円滑な交通が確保できる。 大庭ショッピングタウンの形成により着手時点よりも事業の必要性は高まっており、車道拡幅や歩行空間を早期に確保する必要がある。

※環境への配慮欄の『個別配慮事項』は、『環境への配慮』取組シートの個別の配慮事項を概略で記載する。

一般県道 八重垣神社竹矢線 大庭工区

【路線の概要】

本路線は、一般県道八重垣神社八雲線との交点を起点とし、松江市八幡町地内の国道9号に接続する総延長4.8kmの生活道路である。交差する国道432号沿線には、大庭ショッピングタウンとして日用品を中心とした店舗やクリニック等が集積しているほか、住宅地が広がっており、本路線は通勤、通学、買い物等の日常生活において重要な路線となっている。

【事業の概要】

事業区間は周辺地域の生活道路であると同時に、沿線にある大庭小学校、周辺にある中学校および高校に通う児童・生徒が利用する通学路となっている。道路幅員が4m程度と狭い箇所があり、離合が困難な上に歩道が無いことから、車両のすれ違い時の衝突等、ほぼ毎年交通事故が発生している。車道拡幅および歩道を整備することにより、通行車両および歩行者等の安全確保を図るものである。

【状況写真】



写真① 通学時



写真② 通学時



写真③ 離合困難

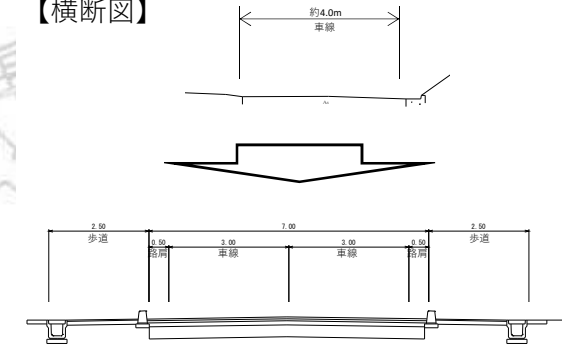


写真④ 供用済区間

【位置図】



【横断面図】



【整備効果】

安全性の向上

・狭隘な幅員は解消され、歩行空間も確保されることから、通行車両および歩行者等の安全で円滑な交通が確保できる